

平成30年11月16日

田辺市議会議長 小川浩樹様

会派名 誠和会
代表者名 中本 賢治

出張（調査研究）報告書

下記のとおり出張（調査研究）いたしましたので、その結果をご報告いたします。

記

参加議員	二葉昌彦
期 間	平成30年10月19日（金）～ 平成30年10月21日（日）
実施場所 （研修会場、視察先、相手方等）	石川県金沢市いしかわ総合スポーツセンター特設射場
活動の目的・内容及び結果等	第69回 全日本弓道遠的選手権大会視察

報告書は別添のとおり

大会日程は、10月19日金曜日からはじまり、公式練習、歓迎セレモニー、男女予選、男女決勝と3日間の大会で、会場は石川県金沢市、いしかわ総合スポーツセンターで開催されました。

金沢市は、新幹線の開通により、観光客が増加し、週末は、宿泊施設を確保するのが、難しい状況でありました。

大会会場である「いしかわスポーツ総合センター」は、施設は充実しているが、金沢市からバスで1時間かかり、選手の方にとっては、弓道一式道具を持ち、移動する面で

工夫が必要と感じましたが、駐車場も広く、選手各位が事前に対応されていたようで、ス

ムーズに試合への準備ができた

ように感じました。歓迎セレモニ

ーでは、日本梯子登りの元祖、

加賀鳶はしご登りの披露、郷土芸

能として栄えてきた、加賀獅子



舞、お茶席 茶の湯（武士のたしなみとされ、静かにお茶をたてて客をもてなす場）加賀

藩と茶道の歴史、武士道の心得に、「もてなし、しつらえ」茶道の教えを取り入れたり、

また、茶道と弓道の作法に柄杓の使い方等に、関連性があるなど日本文化に対する取り組

みと文化の高さを感じました。

また金沢百番街「あんと」と提携し、大会参加者には、おみやげを安く購入できるように

考えたり、交通の面では、タクシー会社に広く周知したりとスムーズに運営ができるように大会に備え、事前に細かい打ち合わせが出来ていたように感じました。

この様に全国大会規模になると選手 200 名以上、各県からの役員、地元での大会準備役員等、総勢関係者だけでも 500 名以上が 3 日間、田辺地域で滞在する事になり、経済効果は勿論の事、世界遺産熊野古道の地域であり、自然豊かな吉野熊野国立公園の地でもあり、全国的知名度もたかい白浜・本宮・龍神温泉、食べ物も美味しい地域として日本中に発信できる良いチャンスであります。

また、田辺市には、全国的に有名な京都三十三間堂「通し矢」で一昼夜に 8,133 本（総矢



数 3,053 本) で天下一となった紀州藩 和佐大八郎が葬られている浄恩寺があり、国体で使用した立派な弓道場があります。良い大会会場になるよう、県、市、広域の市町村一丸となり取り組み、大会を通じ、地域を活かす取り組みにして頂きたいと思う次第です。

